

YAMAU REPORT 2013

2012年4月1日 ▶ 2013年3月31日

明日の快適環境を創造するために。



証券コード：5284

株式情報 (平成25年3月31日)

●株式の状況

会社が発行する株式の総数 22,024,000株
 発行済株式の総数 7,506,000株
 株主の総数 658名

※第1回優先株式を含みます。

●普通株式所有者別状況

金融機関 12名 1,286千株 23.4%
 その他の法人 59名 922千株 16.7%
 個人・その他 586名 3,298千株 59.9%

●大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社福岡銀行	普通株式 222 第1回優先株式 2,000 計 2,222	34.2
明治安田生命保険相互会社	普通株式 325	5.0
ヤマウ従業員持株会	普通株式 221	3.4
株式会社鹿児島銀行	普通株式 195	3.0
株式会社トクヤマ	普通株式 181	2.8
株式会社西日本シティ銀行	普通株式 160	2.5
株式会社佐賀銀行	普通株式 130	2.0
リックス株式会社	普通株式 112	1.7
昭和電工株式会社	普通株式 101	1.6
個人株主	普通株式 90	1.4

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 同連絡先 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
 公告掲載方法 日本経済新聞

〈ご注意〉

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

より詳細な情報は弊社WEBサイトをご覧ください。

<http://www.yamau.co.jp/>



ヤマウフィロソフィー

わが社は、事業活動を通じて社会に貢献することを使命とし、顧客の満足度を高め、会社の発展と社員の幸福を実現する。



代表取締役社長
中村 健一郎

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

当社第56期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の営業の概況等につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月

ループアーチ（大型分割アーチカルバート）産学連携開発

ループアーチ（大型分割アーチカルバート）は、2分割されたプレキャスト部材と現場打ちコンクリートを併用した、大断面アーチカルバートを構築する工法で、工期短縮、省人化を可能としました。平成24年12月、弊社佐賀工場において、九州大学との共同実験で、実大載荷実験を行いました。



PGF（プレキャストコンクリート剛性防護柵）東九州自動車道で採用

PGFは（社）日本道路協会「防護柵の設置基準」に準拠し、車両用防護柵として優れた性能を有した剛性防護柵です。当期は東九州自動車道で採用されました。



ソーラーレグ 太陽光発電事業に寄与

ソーラーレグは、プレキャストコンクリート製のソーラーパネル専用置き式基礎架台です。土工事が不要のため据付施工が簡単で、あらゆる設置条件に対応します。



より安心でより快適な生活環境づくりに貢献するヤマウの製品



○カルバート類

FAボックス



○擁壁類

井桁ブロック



○道路製品類

PGF (プレキャストコンクリート剛性防護柵)



○貯留浸透製品類

アクアポンドS型 (プレキャスト雨水貯水槽)



○景観製品類

擬石平版、笠石、ベンチ、水飲み、パーゴラ他



○河川製品類

ケスタI型 (環境保全覆土ブロック)



○L型擁壁類

NNC (ニューノーマルクリフII)



○建築製品類

ファインユニ (後付エレベーター昇降路)



○レジンコンクリート製品類

カーストップ、係船柱

営業力及び技術力で需要を掘り起こし 省力化及び効率化の取り組みにより増収増益

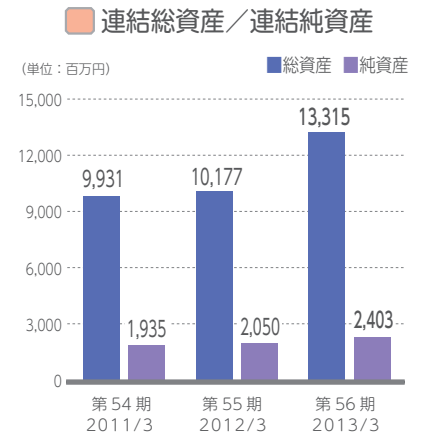
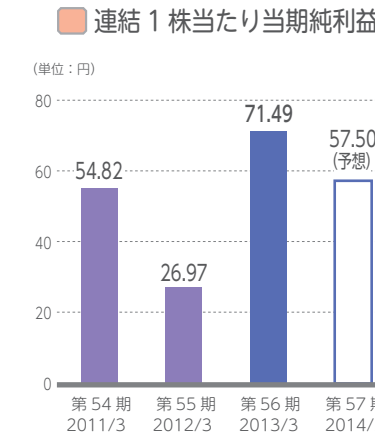
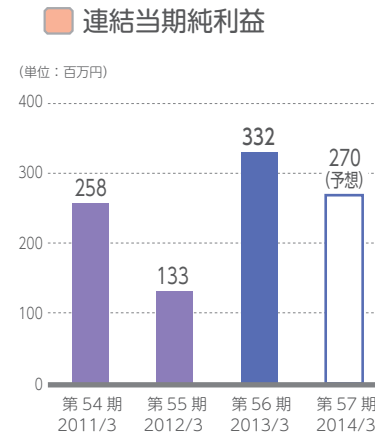
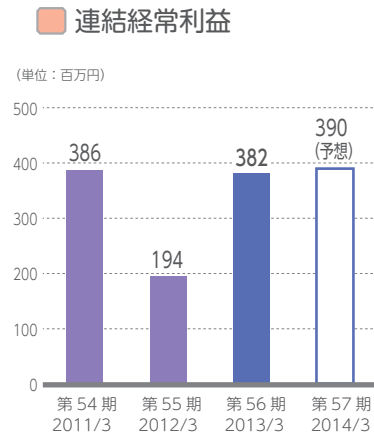
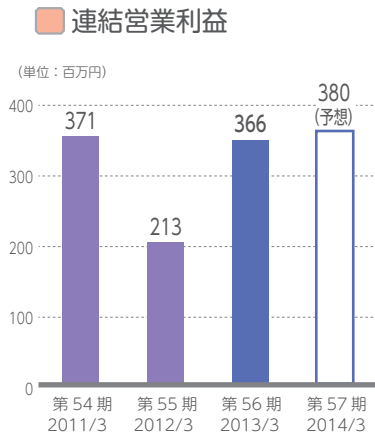
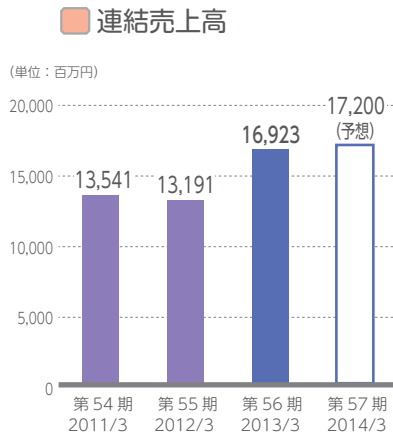
当期決算の
ポイント

- ・ コンクリート製品が全社業績を牽引
- ・ 省力化及び効率化により生産性が改善され収益性が向上
- ・ 子会社化した開成工業(株)が業績に貢献

今後の
成長課題

- ・ プレキャスト化の推進による新たな需要の創造
- ・ 新製品・新技術・新工法の開発等による技術・提案力の強化
- ・ 製造部門を中心とした生産性・採算性の向上による競争力の強化
- ・ グループ会社挙げての人材・情報共有化等総合力による成長戦略の推進

○ 主要な経営指標



○ 当期の営業概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、復興需要を背景として緩やかな回復の動きが見られたものの、欧州や新興国経済の減速や近隣諸国との情勢の緊迫化等により先行き不透明な状況で推移しました。しかしながら、昨年12月の政権交代以降は、新政権による経済政策「アベノミクス」への期待感を背景とした円高の是正や株価の上昇等により、景気回復に向けた期待が高まりつつあります。

当社グループの主要事業分野におきましては、復興関連以外の公共事業については依然として縮減が続き、拡大する需給ギャップを背景とした競合他社との企業間競争の激化等により引き続き厳しい状況で推移いたしました。

○ 次期の見通し

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、主要市場である九州圏内において、昨年夏に発生した九州北部豪雨災害の復旧工事や列島強靱化政策（老朽化対策、防災・減災対策）等により公共事業の積み増しが期待されますが、競合他社との企業間競争の激化、円安による原材料の高騰や電気料金の値上げ等によるコストの増加が見込まれ、引き続き厳しい状況で推移するものと認識しております。

このような状況にあって当社グループは、引き続き、競合他社との差別化並びに新たな需要の掘り起こしを図

このような経営環境下で当社は、競合他社との差別化並びに需要の掘り起こしを図るべく、大型分割アーチカルバートの開発等プレキャスト製品化の推進による提案力の強化や、製造部門をはじめとする全社的なコスト削減強化に取り組みました。また、平成24年4月2日付で、水門・堰の製造、施工及び保守を主たる事業としている開成工業株式会社を子会社化し、営業情報の共有化による営業力の強化等に努めて参りました。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高が169億23百万円（前年同期比28.3%増）、営業利益が3億66百万円（前年同期比71.8%増）、当期純利益が3億32百万円（前年同期比150.2%増）となりました。

るべく、新商品・新技術・新工法の開発等による技術・提案力の強化に取り組んで参ります。また、生産性・採算性の向上による競争力の強化、製品供給体制の強化やグループ会社内の情報共有化等による営業力の強化に取り組み、利益確保に邁進する所存であります。

なお、次期の連結業績につきましては、売上高は172億円（当期比1.6%増）、営業利益3億80百万円（当期比3.7%増）、経常利益3億90百万円（当期比1.9%増）、当期純利益2億70百万円（当期比18.9%減）を見込んでおります。

○ **コンクリート製品製造・販売事業**

コンクリート製品製造・販売事業の売上は、土木製品、建築製品、景観製品、レジンコンクリート製品の販売によるものであります。

当連結会計年度においては、建設投資の縮減傾向が続く状況下で、依然として当社を取り巻く環境は厳しい状況で推移しております。このような状況の中、主力の土木製品群を中心に、受注強化に継続的に取り組んで参りました。

その結果、当連結会計年度においては、コンクリート製品製造・販売事業の売上高は、134億98百万円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益（営業利益）は2億88百万円（前年同期比55.2%増）となりました。

■ **セグメント別売上高割合**



○ **情報機器の販売及び保守並びに環境関連商品の販売事業**

情報機器の販売及び保守並びに環境関連商品の販売事業の売上は、主に金融機関向け業務処理支援機器、貨幣処理機及びその周辺機器の販売並びにそれらの保守、LED照明の販売によるものであります。

当連結会計年度においては、情報機器の販売及び保守並びに環境関連商品の販売事業の売上高は3億20百万円（前年同期比22.8%減）、セグメント利益（営業利益）は2百万円（前年同期比87.2%減）となりました。

○ **水門・堰の製造及び施工並びに保守事業**

水門・堰の製造及び施工並びに保守事業の売上は、水門、除塵機、水管橋等鋼構造物の製造、施工並びにそれらの保守によるものであります。

当連結会計年度においては、水門・堰の製造及び施工並びに保守事業の売上高は29億4百万円、セグメント利益（営業利益）は64百万円となりました。



油圧式起伏ゲート

ローラーゲート

○ **コンクリート構造物の点検・調査事業**

コンクリート構造物の点検・調査事業の売上は、橋梁、トンネル等コンクリート構造物の点検・調査業務の請負、補修・補強設計業務の請負によるものであります。

当連結会計年度においては、コンクリート構造物の点検・調査事業の売上高は2億7百万円（前年同期比3.7%増）、セグメント利益（営業利益）は10百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

○ **コンクリート製品の種類**

● **土木製品**

土木部門では、環境問題への関心の高まりや熟練工不足による省人化問題の解決に向け、「現場打ちのプレキャスト製品化」を提案し施工現場の作業改善や工期短縮に貢献しています。



FAボックス

● **建築製品**

後付エレベーター昇降路「Fine uni(ファインユニ)」は、既存建物の物理的バリアを解消し、入居者の高齢化が進む共同住宅や、車椅子対応を進める教育施設への今後の需要が見込まれています。



ファインユニ (後付エレベーター昇降路)

● **景観製品**

多彩な表情を持つヤマウの景観製品は自然環境に広がりとお興行きを与え、開放感やスケール感を損なうことなく美しい景観を演出します。



車止め

● **レジンコンクリート製品**

レジンコンクリートは耐摩耗性、耐薬品性、耐水性などに優れ、美観とともに強度や耐久性の両面が必要とされる環境条件に最適な製品です。



fitサークル

● 連結貸借対照表 (平成25年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額
資 産 の 部	
流 動 資 産	9,248,605
固 定 資 産	4,067,187
有形固定資産	3,495,954
無形固定資産	135,233
投資その他の資産	435,999
資 産 合 計	13,315,793
負 債 の 部	
流 動 負 債	9,935,054
固 定 負 債	977,085
負 債 合 計	10,912,139
純 資 産 の 部	
株 主 資 本	2,314,529
資本金	800,000
資本剰余金	300,000
利益剰余金	1,226,433
自己株式	△ 11,903
その他の包括利益累計額	50,609
その他有価証券評価差額金	50,609
少数株主持分	38,514
純 資 産 合 計	2,403,653
負 債 純 資 産 合 計	13,315,793

● 連結株主資本等変動計算書 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		少数株主 持 分	純資産 合 計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合 計	その他 有価証券 評価差額金	その他 の包括利益 累計額合計		
当期首残高	800,000	300,000	914,100	△11,809	2,002,291	16,957	16,957	31,500	2,050,748
当期変動額									
剰余金の配当			△ 20,652		△ 20,652				△ 20,652
当期純利益			332,984		332,984				332,984
自己株式の取得				△93	△93				△93
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						33,651	33,651	7,014	40,665
当期変動額合計	-	-	312,332	△93	312,238	33,651	33,651	7,014	352,904
当期末残高	800,000	300,000	1,226,433	△11,903	2,314,529	50,609	50,609	38,514	2,403,653

● 連結損益計算書 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	16,923,641
売上原価	12,770,657
売上総利益	4,152,984
販売費及び一般管理費	3,786,468
営業利益	366,515
営業外収益	146,349
営業外費用	130,215
経常利益	382,649
特別利益	59,936
特別損失	38,880
税金等調整前当期純利益	403,704
法人税、住民税及び事業税	61,223
法人税等調整額	2,481
少数株主利益	7,014
当期純利益	332,984

● 連結キャッシュ・フロー計算書 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	799,853
投資活動によるキャッシュ・フロー	280,351
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 756,707
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	323,497
現金及び現金同等物の期首残高	1,141,745
現金及び現金同等物の期末残高	1,465,242

● 会社概要

商 号 株式会社ヤマウ
 本 社 福岡市早良区東入部五丁目15番7号
 創 業 昭和28年10月
 設 立 昭和33年2月
 資 本 金 8億円
 代 表 者 代表取締役社長 中村 健一郎
 従 業 員 239名 (平成25年3月31日現在)

● 事業所

営 業 所 福岡、久留米、北九州、筑豊、熊本、佐賀、唐津、長崎、大分、大分北、宮崎、延岡、日南、高鍋、都城、鹿児島、川内、鹿屋、霧島
 関東事業部
 工 場 福岡、北九州、佐賀、大分、川南、高崎、鹿児島

● 主な子会社

(有)ヤマウ・アサヒ 鉄筋加工事業
 (株)ヤマウトラスト 製造業務請負事業
 九 コ ン 販 売 (株) コンクリート製品仕入販売事業
 メ ッ ク (株) コンクリート構造物の点検・調査業務、補修・補強設計業務、補修工事業務、補修・補強材料販売業務
 クリエイトィブ・モールド(株) コンクリート製品用型枠の製造・販売並びに改造・修理
 光洋システム機器(株) 情報機器の開発・販売及び保守並びに環境関連商品の販売
 大 分 フ ジ (株) コンクリート製品製造・販売
 宮 崎 プ レ コ ン (株) コンクリート製品製造・販売
 開 成 工 業 (株) 水門・堰の製造、施工及び保守

● 会社役員

代表取締役会長 権 藤 勇 夫
 代表取締役社長 中 村 健 一 郎
 専 務 取 締 役 小 嶺 啓 藏
 常 務 取 締 役 伊 佐 寿 起
 取 締 役 徳 安 正 範
 常 勤 監 査 役 平 野 貞 義
 監 査 役 長 野 紘 一
 監 査 役 右 田 國 博



▲北九州工場



▲川南工場